

卒業おめでとうございます

～興讓館の卒業生として、自信と誇りを胸に。いざ新天地へ！～

＊門出の言葉

卒業生代表 太田 彩 (高畠中出身)



冬の寒さも和らぎ、柔らかな日差しに春の訪れが感じられる時節となりました。本日は、私たち卒業生の為に、盛大な卒業式を挙げていただきました。ありがとうございます。校長先生をはじめ、ご来賓、在校生の皆さんから温かいお祝いと激励のお言葉を頂戴し、大変うれしく、卒業生一同を代表し、心より感謝申し上げます。

真新しい制服に身を包み、胸を膨らませて米沢興讓館高校に入学してから、早や三年の歳月が経とうとしています。巣立ちの瞬間を前にし、改めてこの歴史と伝統のある興讓館で三年間を過ごすことができたことに対して、支えてくださった先生方や家族に、また共に過ごした仲間や後輩の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。私たちにとって、この学び舎での日々は、かけがえのない愛おしいものとなりました。時には悩み、苦しかった時もありましたが、だからこそ成長することができたのだと思えます。価値のある充実した三年間でした。

ここで高校三年間を振り返ってみたいと思います。私たちの学年は、後ろ二年が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、行事のカットや縮小、体験型学習の大幅変更を余儀なくされました。高校一年目は何ら制限のない通常の学校生活を送ることができたこともあり、高校二年目、三年目が窮屈にも、時には物足りなくも感じました。一年生となった四月は休校から始まり二十一日にやっと始業式でした。その後、学年別分散登校となり、五月の二十五日になってやっと全学年通常登校に戻りました。部活動は六月の県大会が中止となり、三年生の先輩はそのまま引退となってしまったことがとても残念でした。しかし、この経験は、私にとって「通常」とか「当たり前」と思っていた様々な事柄を捉え直すいい機会となりました。

三年生となり、最学年として、また唯一、従来の興讓館



Yonezawa Kojokan High School

令和4年3月24日発行

第52号 山形県立 米沢興讓館高等学校

〒992-1443

山形県米沢市大字笹野1101

TEL 0238-38-4741

FAX 0238-38-2531

<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

生活を体験した学年として、制限下であっても興讓館生らしい「行事」の実現に力を入れました。「体育祭」や「興讓祭」など、自分たちが楽しめるように、知恵を出し合い、工夫を重ねたことにより、「従来どおり」ではなかったからこそその充実感を得ることができました。「創意工夫」の大切さ、素晴らしい気づきことができました。

勉強については、自分の成長を感じながら進められた時期もありましたが、苦しかった時期もありました。今年二年目実施の大学入学共通テストの対策にも苦戦しました。「自分はなぜ勉強するのか」と悩みながら自分と向き合い、そこで、今までの自分の選択の原点であった「知的好奇心」を思い出すことができました。また、柔軟に対応する力と「希望をもって前進していく気概」を持てるようにするために、勉強や探究が必要なのだと分かりました。

これから私たちはそれぞれ新しい道に進みます。三年間共に過ごした学年の皆さん、これまで本当にありがとうございました。私とは違う価値観や夢を持った色々な人と出会えたお陰で、多くの人で成長することができました。勉強している姿や各活動の活躍は、私のモチベーションになりました。これからも学年の同士として応援しています。二年生、一年生の皆さん、一緒に学校生活を盛り上げてくれてありがとうございました。皆さんらしい方法で、興讓館の新たな歴史を刻んでいくください。校長先生をはじめ、諸先生方、学習指導はもろろんのこと、部活動のご指導、進路の相談、大変お世話になりました。私たちはこれまで様々な社会問題やこれからの変化について学ばせていただき、また、先生方により厳しい社会から守られていたことに気がきました。これから行く先々で先生方からの教えを思い出し、自分と社会とのように関わっていくのを考え続けていきます。そして、今までもいつも一番近くで支えてくれたお父さんとお母さん、「ありがとう」の言葉で言い尽くせないほど感謝しています。いつも私のことを心配してくれて、私の希望を尊重してくれて、本当にありがとう。これからもよろしくお祈りします。

最後に米沢興讓館高校の益々のご発展と、本日は臨席くださいました皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げ、門出の言葉と致します。

＊はなむけの言葉

在校生代表 齋藤 映斗 (白鷹中出身)



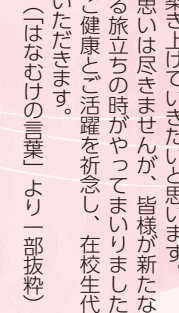
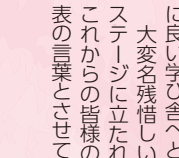
厳しく、雪の多かった冬の寒さも和らぎ、穏やかな春の息吹が感じられる今日の佳き日、この米沢興讓館高等学校から旅立たれる皆様、誠にありがとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

昨年度の四月、コロナウイルスの影響によりいつもよりも始業が遅くなり、私たち新入生は強い不安を感じていました。しかし、六月に入り先輩たちと同じように登校できるようになったとき、先輩方の学校生活を楽しめる姿が私たちに大きな安心感を与えてくださいました。

いつも私たちの前を歩いて下さっていた皆様の旅立たれた後に、伽藍堂になってしまった教室。それを使うと大変寂しく、不安で心細い思いがあふれ出てきます。しかし、コロナ禍でも皆様が繋いでくださった本校の伝統をしっかりと受け継ぎ、この米沢興讓館をさらに良い学び舎へと築き上げていきたいと思えます。

大変名残惜しい思いは尽きませんが、皆様が新たなステージに立られる旅立ちの時がやってきました。これからの皆様のご健康とご活躍を祈念し、在校生代表の言葉とさせていただきます。

(はなむけの言葉より一部抜粋)



1・2年生研修旅行

私たち探究科は、茨城県つくば市においてつくば研修を行いました。私の所属したグループでは、JAXAやジンパンクなどを見学しました。ロケットや人工衛星の模型を見ながら実物の開発過程や使用用途について学んだり、世界中の植物の種子の保管庫を見学しました。今回の研修は海外研修の代替研修として先生方が苦勞して組んでくださったもので

できることが制限される中で

二年一組 佐藤 俊輔
(長井北中出身)

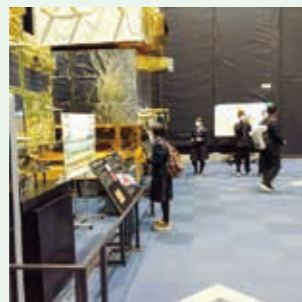
その気持ちを汲み取り、研修の夜は誰一人としてホテルの部屋を出ることはなく、全員安全に夜を過ごしました。このご時世でも、先生方のおかげで研修を通して多くのことを学ぶことができました。



私は、今回のつくば研修で、JAXAなど最先端の科学技術の研究機関を見学しました。私が一番印象に残ったことは、研究者が自分の仕事に自信と誇りを持って取り組んでいたことです。研究者は、身の回りの現象に「なぜ？」と疑問を持ち、世の中に役立つアイデアはないかと常に考えていました。このように、自分の専門分野の研究を深める地道な努力が、科学技術の進歩につながっているのだと実感しました。私もいろいろなことに興味と関心を持って、前向きに取り組んでいきたいと思います。

研究者の姿

一年四組 米 美菜穂
(米沢一中出身)



コロナ禍ではありましたが先生方が計画して下さり、厳重な感染対策を行ってくださったおかげでキャリア研修が実現されました。この研修を通して、様々なことに興味関心を持つことが大事だということを学びました。見学する前にあまり興味がないなと思ったことでも、実際に体験してみると深く知りたと思うことができました。また、将来の選択肢の幅は自分が思っていた以上に広いということも知ることが出来ました。今回のキャリア研修で学んだように、広い視野で多角的な視点から自分の将来について考えていけるようにしたいです。

キャリア研での学び

二年五組 渋谷 寧南
(長井南中出身)



未来へ向かって！ 大学入試共通テスト激励会

先生方からのメッセージや応援団による激励応援など、受験生に勇気を与える会になりました。



部活動のがんばり ～上位大会出場報告及び優秀作品紹介～

インターハイを経験して

スキー部 二年三組 落合 創太
(米沢四中出身)

第七十二回全国高等学校スキー大会 男子スバルジャンプ場
ここ最近で大きく大会のあり方が変わって来ましたが、それでもインターハイへ出場できるというのは大きな喜びでした。それと共に、たくさんの方々のご協力がある事を忘れずに一杯頑張ろうと、緊張感もありました。目標は入賞である十位以内に入る事でした。結果は目標にはまだまだ及ばず、自分の未熟さを痛感しました。根本的なジャンプの動きの無駄や本番でベストジャンプを揃えるメンタルなど課題は山積みです。来年は地元でのインターハイとなるので上位に食い込めるように夏のうちから頑張りたいと思います。

高かった全国のレベル

スキー部 一年三組 伊藤 そら
(米沢七中出身)

第七十一回全国高等学校スキー大会
女子クロスカントリ競技 五キロ・クラシカル出場
今年一年、シーズンオフの時期はランニングやローラースキーをメインにトレーニングを積み重ねて来ました。インターハイでは三十位以内が目標でしたが、到底及ばない結果で終わり、全国のレベルを見せつけられ、力の差を痛感しました。
しかしこの舞台に立てたのは、親や顧問の先生方、コーチの方々など、沢山の人の支えがあってこそであり、とても感謝しています。そして何より、このコロナ禍でも大会を開催して下さったことに感謝しています。
来年は入賞を目標に、改善点と向き合ってさらに上を目指せる力をつけて頑張っていきたいと思います。



貴重な経験

スキー部 二年四組 原田 結子
(米沢二中出身)

第七十二回全国高等学校スキー大会
シンボルマークデザイン 最優秀賞獲得
シンボルマークは、シンボルマークデザインという思いも込めました。制作前に現代のさまざまなシンボルマークの構図を調べたこと、このようなマークの完成に繋がったと思います。高体連という大きな大会の最優秀に選ばれたことは光栄であり、良い経験になりました。



第72回全国高等学校スキー大会のシンボルマークとしてこのデザインが採用されました

十年一剣

弓道部 二年四組 鈴木佐緒莉
(米沢二中出身)

第四十回記念令和三年度
全国高等学校弓道選抜大会出場
全国選抜大会に出場してきました。準決勝敗退という結果でしたが、今の実力に合った結果だったと思うし、何より試合が楽しかったので良い思い出になりました。私の課題は練習で出来なかったことを本番でしようとするのでしたが、今は良い意味で自分の実力に見切りを付けられるようになったと思います。そしてレベルの高い射を生で見てその無駄の無さに驚きました。自分と他人とを研究することで射だけではなく様々な面で成長できると思うので、今ある無駄を減らせるように残りの活動を頑張っていきたいと思います。



目標の舞台で

陸上部 二年二組 船山 明莉
(米沢八中出身)

第五十七回東北高等学校駅伝競走大会出場
私達陸上部は二年生十六名、一年生八名の計二十四名で日々活動しています。今回の東北大会は長距離女子で出場しました。
私達は、東北大会出場という目標を決め日々の練習に取り組んでいたのですが、出場できてとても嬉しかったです。

東北大会では、自分達の思った通りの走りができず、悔しい思いをしましたが、最後まで楽しんで襷を繋ぐことができ、とても良い経験となりました。
私たちが努力してこられたのは、いつも支え応援してくれる家族、先生、仲間が存在があったからです。本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからも自分の目標を達成できるように努力を続けていきます。



音楽を通して

管楽器部 二年四組 高橋 葵
(米沢二中出身)

今年度吹奏楽研究クラブは、コンクールへの出場、定期演奏会の開催、保育施設向けCDや絵本の制作などの機会をいただきました。今回、私たちフルート三重奏は、アンサンブルコンテスト山形県大会へ出場してきました。残念ながら結果は銀賞でしたが、緊張の中でも自分たちの音楽を楽しんで演奏でき、大変良い経験となりました。コロナ禍でたくさん制限がある中で練習させていただけただけことや、支えてくださった顧問の先生方、家族、共に頑張ってきた仲間から感謝しています。本当にありがとうございます。



興譲校での発表の様子：吹奏楽研究クラブ

令和3年度 校内探究活動発表会

司会進行の目線から

二年一組 秋葉 有咲
(米沢一中出身)

校内探究活動発表会総合司会者

令和四年二月十一日、「令和三年度校内探究活動発表会」が行われました。私はこの発表会で総合司会を担当しました。

午前の部では、二年生のスーパーサイエンスリサーチ（SSR）と一年生の異分野融合サイエンス（FS）の発表が行われました。

二年生のSSR発表では、各テーマ別に分けられた六十四グループが、これまで実施してきた研究の成果をポスターにまとめ発表しました。各分野のエキスパートで構成された審査員により特に優秀と認められた十二本は、次年度の五月探究活動成果発表会にて全校生徒の前で口頭発表を行います。

私も実際研究を行ってみて、自分の興味を生かして研究を行うことの楽しさや、自分自身で仮説を立てて実験内容を考えながら工夫して行うことの難しさを実感しました。発表を行うにあたっては、ポスターを見やすくするレイアウトの工夫であったり、聴衆にどうしたら自分たちの研究の魅力を伝えることができるのか考えながら準備を行いました。

残念ながら、今年度は、新型コロナウイルス感染症防止策として、発表を録画したものを審査員の方にオンデマンド視聴していただく形式となり、三月下旬に審査結果が発表される予定です。



プログラムの表紙
美術部 松井はんな
西長 里恵



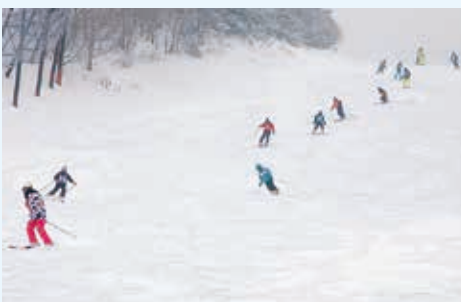
令和3年度 校内探究活動発表会日程

時間	2年(64班)	1年(50班)	外部参加者等
8:30~8:45	SHR(健康観察を徹底、日程確認)~発表準備		来校
8:50~9:00	開会行事(HR教室にてオンライン配信)		打ち合わせ
9:00~9:20	会場準備・移動※2		
9:20~10:00	ポスター発表1(2年SSR)	22プログラム【40分】	
10:10~10:50	ポスター発表2(2年SSR)	22プログラム【40分】	
11:00~11:40	ポスター発表3(2年SSR)	22プログラム【40分】	
12:00~12:21	ポスター発表4(1年FS)	25プログラム【20分】	
12:35~12:56	ポスター発表5(1年FS)	25プログラム【20分】	
12:56~14:00	教室復元・片付け・昼食		
14:00~15:00	教室にてオンライン発表 ・2年コアSSクラブ/パートナー育成塾専門研究成果発表 発表8分+質疑応答5分 ×3班 ・やまがたAI部研究報告 発表8分+質疑応答5分		
15:00~15:10	休憩		
15:10~15:35	アンケート・投票		
15:35~15:50	清掃・後片付け(PCは各クラスで片付け)		

一年生のFS発表では、二年生同様五十グループがポスター発表を行いました。FSは二年生での研究の足掛かりとなる重要な活動のひとつであり、一年生にとって自分の興味を「知る」機会になったと思います。今年度の研究活動をさらに「深い」学びへと繋げていってほしいです。



スキー授業



不撓不屈

一年一組 村上 冬羽
(小国中出身)

高校に入って初めてのスキー授業。本来であれば三回実施される予定でしたが、コロナの影響で二回に縮小されました。そんな状況下でも先生方のご指導のおかげで有意義で楽しい授業になりました。

一回目は米沢スキー場での授業でした。当日は午後から自由時間があり友達と滑走を楽しみました。ダイナミックコースという急な斜面に行ったのですが、全員が腰を抜かして転び、ある意味、不屈の精神を形成することができました。

二回目は天元台へ行きました。全身ぐちゃぐちゃに濡れながらも皆が楽しく滑ることができました。今年は二回しかできなかったスキー授業ですが、来年は三回行えることを期待したいと思います。